

第3回 日本・インド共同ワークショップを開催

国土交通省国土技術政策総合研究所（以下、「国総研」という。）は、平成24年（2012年）2月13日（月）～2月15日（水）までの3日間、インド国シッキム州ガントク市内において、インド国内務省災害管理研究所(National Institute of Disaster Management)（以下、「NIDM」という。）との共同ワークショップを開催いたしました（*）。

シッキム州関係大臣を含め約300名が参加し、その後各防災関連技術等に関する発表、質疑応答、討論を行い、最終的に今後の研究連携の方針をまとめたロードマップを作成しました。また、地すべりの現地視察を3箇所について行い、議論の場を設けて技術的な助言を行いました。日本からは国総研の他、関係独立行政法人、関連する民間団体等が参加し行われました。

次回ワークショップは近く再びシッキムの地で行われる予定です。国総研は、今後も引き続き関係機関と協力しつつ、NIDMとの研究連携を推進して、同国の災害関連技術の発展に貢献してまいります。



（開会式の様子）

<開催の経緯>

2009.3 連携ニーズの把握と技術特定に関する現地調査等実施（ニューデリー）

2010.1 第1回WS（つくば）を開催

2010.2 「インド国内務省災害管理研究所との災害管理に関する研究連携覚書」の締結

2011.3 第2回WS（シッキム州ガントク）を開催

（*）一連の活動は両研究所の研究連携の推進、並びに両国首相による安全保障（災害管理含む）の協力宣言のための行動計画に位置付けられて行われています。

1. 各技術発表・討議

(1)地すべり・災害関係

- ・地すべりについての基本的な研究方針
- ・土砂災害に対する雨量観測及び警報システム
- ・地すべり調査のためのセンサー技術
- ・ゲリラ豪雨に対するXバンドレーダー技術
- ・インドにおける地すべり対策
- ・シッキム州における地すべり災害管理

(2)抜本対策関連技術

- ・トンネル計画と基礎設計
- ・トンネルの建設技術
- ・道路盛土崩壊 等

2.<土砂警報システムに関する研究連携：案>

(2012年度)

①日本側によるシステムの説明、インド側による現場の選定、システムの設置

②雨量データの記録とシステムの稼働

(2013年度)

記録雨量データの収集、解析と評価、土砂災害の発生メカニズムとの比較

(2014年度)

システムの問題点の特定、解決策の提示、報告書の作成、公表

3.<地すべりに関する基本アプローチと調査手法に関する研究連携：案>

(2012)

地すべりに関する情報交換、理解促進

(2013)

対策工法と施設管理についてのプレゼンテーション及び討議

(2014)

報告書の作成・公表に向けた研究協力の確認及び評価

(国際研究推進室)